

なかしゅんべつ

2014
10
No.441



目次

敬老会……………	2～3	管内農協ゲートボール……………	10
中春別神社例大祭……………	4～5	営農対策情報……………	11
青年部のページ……………	6	産業祭……………	12
根室ホルスタイン共進会	8～9	生乳課情報……………	13

中春別神社例大祭で行われた恒例の「班対抗玉ねぎりレー」、各チーム綿密に打合せをして臨んだのですが…体力的にきつかったようです。

みなさん益々元気で まだまだ「現役」ですよ！

9月18日(ゆ)にウエディングプラザ別海にて、毎年行われていきます70歳以上の方々を対象とした敬老会が対象者205人の内、77人の方々が参加され、盛大に開催されました。

小湊代表理事組合長のあいさつより始まり、別海町



副町長・磯田俊夫様、別海町社会福祉協議会会長・木村征俊様より祝辞をいただきました。続いて記念品の贈呈が行われ、今年度、白寿、米寿を迎えられた方は2人で、別海町より記念品が贈呈され、古希を迎えられた7人の方々には、別海町社会福祉協議会より、記念品が贈呈されました。

また、今後も健康で元気に過ごしていただきたいとの願いを込めて、70歳以上の方々全員に農協より記念品が贈呈されました。

記念品の贈呈が終わり、別海町議会議員西原浩様の



素晴らしい喉を披露していただきました皆さん





乾杯の音頭とともに祝宴に入りました。各テーブルでは、たくさん料理を囲みながら、久しぶりに会った友人と趣味の話やお孫さんの話などいろいろな会話をし、終始笑い声が溢れていました。また、ステージ上では、豊原手踊りグループ、美原盟友会（美原踊りの会）に踊りを披露していただき、会場を大いに盛り上げていただきました。

のカラオケが始まりました。日頃鍛えた自慢の喉を披露され、会場からは「おっ！いいぞ！！」の掛け声や温かい拍手が送られていました。楽しい時間は早く過ぎてしまうもので、あっという間にお時間がきてしまいました。敬老会対象者を代表し、中春別地区佐々木茂成様より謝辞をいただき、中春別酪農対策協議会会長・西川寛楡様の万歳三唱にて、JA敬老会の幕を閉じました。

一緒に苦勞した仲間達とひさびさの乾杯！



記念品を受け取る上神さん



記念品を受け取る久保さん



豊原手踊りグループ、美原盟友会による華麗な踊りを披露、会場が明るくなりました



記念品を受け取る藤倉さん



街中あげての活気に溢れた お祭りとなりました

威勢のいい神輿担ぎに子供達の笑顔も弾けました！



中春別神社 例大祭

9月14日(土)、15日(日)にかけて中春別八幡神社例大祭が盛大に開催され、中春別地区内に住む子供から大人までが八幡神社のお祭り会場に集まりました。



子供達による舞いが披露されました

保育園児や小学生、中学生、市街に住む大人たちがお祭り法被に身を包み、太鼓をたたいたり、大きな声で「わーっしょいーわーっしょいー」とお神輿を担ぎ、中春別市街を元気に練り歩きました。

途中、舞踊やダンス、園児達の踊りが披露され、太鼓や掛け声につられ家から出てきた近所の方や、一緒にお神輿の列を歩いたお父さん、お母さん達を喜ばせました。

お祭り会場では子供相撲が行われ、力いっぱいに取り組む様子を見てみると、応援している子供達にも熱が入り「いけー！押し任せ」などの声援が飛び交い大賑わいでした。

女の子相撲では、白熱した試合が続き、最後の決勝戦では名勝負が繰り広げられ、負けた女の子の目から涙がこぼれる一幕もあり



大人による神輿も出され治道も大賑わい





名勝負が繰り広げられ、負けて涙を流す子も…



獅子舞に思わず泣き出してしまいました

ました。相撲に出た子たちには賞品が手渡され、みんなご満悦の様子で子供相撲が終了しました。

恒例「玉ねぎ拾いリレー」ではハプニングが続出！

最後は、大人達による班対抗玉ねぎ拾いリレーが開催されました。

我先にブルーシートに詰まれた玉ねぎのベストポイントに陣取り、シミュレーションする人や一番疲れるポジションをジャンケンで決める人など、さまざま

人が入り乱れながら玉ねぎ拾いリレーがスタートしました。

スタート時は、皆さんすごい速さで玉ねぎを拾っておりましたが、開始から一分が過ぎる頃には、手と足が言う事がきかなくなり、次の人に玉ねぎを渡す時に落とすなどのハプニングが



始めにスパートをかけ過ぎ、徐々に手と足が思うように…

続出し、終了する頃には、その場に倒れこむ人や最後まで全力で拾い続ける人で会場は、大いに盛り上がりました。
拾った玉ねぎは、同じ班の仲間達で分け合ったところで、中春別神社例大祭が幕を下ろしました。

同じ釜の飯を食べて団結を深めました

青年部新入部員歓迎交流会

今年度新たに青年部へ加入された3人の交流会を、久保牧場のD型を借りて開催しました。

20代の青年部員が集まり、新入部員と焼肉を囲んで交流会が始まりました。

始めは、牛の管理方法や牧草収穫などの仕事の話しをしながら



ら焼肉を食べつつ、後輩から先輩に悩みや今抱えている問題などを相談しているうちに時間が過ぎていきました。開始から1時間ほどたつ頃には、お腹も満たされ最初

のよそよそしい雰囲気もなくなり、話題は異性の話やプライベートルな話しになると、今までおとなしく話を聞いていた部員からいろいろな話が飛び出し、大いに盛り上がり、終始笑いが絶えない交流会となりました。



仕事の話から異性の話まで腹を割った話にすぐ打ち解けました

知識・技術向上・良質乳生産の意識を高める視察研修会

青年部地区内視察研修

青年部では、毎年部員の知識と技術向上と良質乳生産の意識を高めるため、視察研修会を行っております。

今年度は、泉川の(株)マイスターフードSFR（TMRセンター）を視察をしました。

小牧俊雄代表より事業概要の説明があり、青年部員からは設立のきっかけやセンターのメリットなど積極的に質問する姿が見られました。



センター内の施設、作業を視察する部員達



施設視察後、部員の質問に丁寧に応じてくれた小牧代表

をTMRの餌代に当てることで、収穫時期に大幅に取られる時間やストレスがなくなり、空いた時間で繁殖管理に力を入れるなど、今まで以上に丁寧に行えるので、牛のトラブルが減ったと話してくれました。

概要説明の後は、実際に施設を見て回ると、青年部の一つひとつの質問や疑問に丁寧に答えていただきました。

新しい技術を使った 草地管理方法の講習会

藤倉牧場で「新しい草地管理と施肥管理の考え方」の講習会が開催され、各振興会・青年部が参加をしました。

講師として、オーストラリアよりブライアン氏によるスライドを使った「土壌・作物分析に基づく草地管理・サスペンションによる新しい施肥管理」の説明が行われました。

従来の土壌分析では、広い牧草地の正確な分析値を得ることが難しく、1枚の圃場でも土壌のバラつきが大きいことがわかってきているが、一枚の圃場を細かく分析するには大変な労働力が必要のため、今まで圃場を個人で細かく分析を行うには限界がありました。

今回新たな取り組みとして、従来の土壌分析方法では、土壌サンプルを採取する際にサンプル場所は地図にするしをつけて目安で行っていたが、新しい施肥管理方法では、GPSによる採取場所が記録され、分析サンプルの採取についてもトラクターや軽トラに土壤機械を装着し、車から乗り降り



不要となるので、短時間で多くのサンプル採取が可能となるので、自分の畑を知ることと肥料のロスが少なくなるのではないかと説明と実際に機械を使ったデモンストレーションが行われ、集まった参加者は興味心身な様子で質問が飛び交っておりました。

さらに新たな技術として、従来のB B肥料などの固形物による肥料

散布方法から液肥と固形物の中間となる肥料の散布方法の紹介があり、今までタンカルやB B肥料を別々に散布する方法のため、トラクターでの作業が多く何度何畑を走らないといけなかった作業から、新たな方法では、スラリタンカー状のタンク内に水と一緒に肥料を投入して散布するため、水に溶ける物質であれば、同時に散布が可能となるため、細かく分析をかけた草地に合わせて簡単に必要肥料の散布が一回に可能となる新技術の発表がありました。

参加者からは、「溶かした肥料が詰まることはないのか」などの質問があげられると、肥料を微粉末状のものを使うので、詰まることはなく試験結果ではより吸収が良くなり、牧草の生育も従来の肥料のときより早いと説明がありました。

今回の講習会に参加された方々は、新しい技術や管理方法など今までとは違う草地管理と言うこともあり、さまざまな質問が積極的に飛び交い大盛況の中、講習会が終了しました。



スライドを使って説明するブライアン氏

陽が落ちるのが早くなっています、より慎重に安全運転をお願いします

秋の交通安全「街頭啓発」



各町内会、連合会、農協職員がドライバーに安全運転を呼びかけました



ことから、一人ひとりの交通安全に対する意識が必要です。シートベルトの着用、スピードダウンはもちろんのこと事故のないように安全運転をお願いいたします。

中春別消防署前で秋の街頭啓発が9月21日行われ、道行くドライバーに「べっかい牛乳」を配布し、交通安全の呼びかけを行いました。

地元町内会、連合会農協職員など約20人の方々の協力のもと、安全運転やシートベルトの着用の確認と、交通事故の防止を呼びかけました。

毎年事故が多発する時期でもある

各部とも体型に優れ高レベルな 申春別ホルスタイン達

根室ホルスタイン共進会

平成26年根室ホルスタイン共進会が、8月23日(土)中標津町ホクレン根室地区家畜市場において行われました。

総出品頭数138頭で北海道総合畜産共進会に向け高レベルな熱い競い合いが繰り広げられました。

審査員には申田雅樹氏(清水町酪農家)があたりました。雨が降ったり止んだりとパツとしない天候の中でしたが、当農協からは14頭(未経産牛6頭、経産牛8頭)の出品があり、1等賞1席に3頭が輝き入賞率も1等賞4頭、2等賞4頭で57%と好成績をおさめました。なかでも久保光大さん出品「プレステージ ラスト チャンス ET」がグランド・リザーブチャンピオンおよびシニア・チャンピオンに、山田晃嗣さん出品「ライブリー K ジャスパール リル ET」がシニア・リザーブチャンピオンの栄誉に輝きました。

また、今年からショウを始めた出品者もあり、第2部の中西裕哉さん出品牛が2等4席、第5部の寺澤佳吾さん出品牛が2等2席と全道出品枠まで後少しのところでした。夜通し行われた出品牛の毛刈りでも、若手出品者がベテラン出品者に熱心に質問し、アドバイスを頂いてる姿が印象的でした。



シニア・リザーブチャンピオン
ライブリー K ジャスパール リル ET
所有者 山田 晃嗣氏



グランド・リザーブチャンピオン
およびシニア・チャンピオン
プレステージ ラスト チャンス ET
所有者 久保 光大氏



部	名	号	生年月日	父牛名号	出品者
2 3等賞	インター	アイオーン ラブ	H25.9.7	ミッドフィールド CCM アイオーン	佐々木靖裕
2 2等4席	プレゼント	マリールド ウェーブ ガール	H25.9.18	ジレット ティーウェーブ スパークリング ET	中西 裕哉
3 3等賞	プロミネンス	アイオーン オレンジ ホット	H25.7.9	ミッドフィールド CCM アイオーン	寺澤 佳吾
5 3等賞	ソーンリー	ブラクストン フロイド	H25.3.18	レーガンクレスト S ブラクストン ET	佐々木靖裕
5 2等2席	プロミネンス	ビューテール ボクスター	H25.2.1	エメラルドエーカーエスエー T-ボクスター	寺澤 佳吾
6 3等賞	イーストロード	アドベツト ピコロ ウィー	H24.12.2	ラ プレゼンテーション ピコロ RED ET	馬場 文夫
7 3等賞	セイコー	ロクセツト ジャスミン	H23.11.4	ミッドフィールド CCM アイオーン	宗像 卓朗
7 1等1席	ライプリー	スポツティー マダー	H24.4.22	ライプリー ハヤ マダー	山田 晃嗣
7 2等1席	YMD	チュンキー アイオーン ルツクス	H23.10.20	ミッドフィールド CCM アイオーン	山田 博和
11 2等2席(BP)	MM	コロバス カリスマ ダビユーク	H23.6.6	デュバスクワイアー カリスマ	目黒 雅明
13 1等1席(BU)	プレステージ	ラスト チャンス ET	H22.4.7	マコンバー オーマン ボガート	久保 光大
13 1等2席	ライプリー	K ジャスパー リル ET	H22.8.3	ウイルコックスビュー ジャスパー ET	山田 晃嗣
14 1等1席(BU, BP)	FR	マツヨ リヴェレスト	H20.10.9	コムスター リヴェレスト ET	浮川 優
14 3等賞	YMD	ユリアナ エレスト デイアス	H21.8.7	コムスター リヴェレスト ET	山田 博和

BU=ベストアダダー BP=ベストプロダクション

根室管内祝勝会と総合畜産共進会壮行会を開催



なお、9月27日から28日に安平町で開催される北海道総合畜産共進会には根室管内から59頭が出品され、当農協からは、経産牛5頭が出品されます。このショウに先駆けて9月18日に根室管内祝勝会並びに総合畜産共進会壮行会が、白樺食堂にて開催されました。今シーズンも佳境を迎えますが、中春別ホルスタインが全道の舞台で邁進することを願っています。

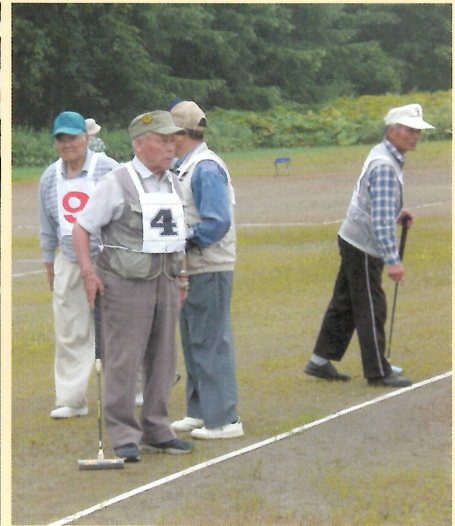
第16回 北海道総合畜産共進会出品牛

名	号	生年月日	父牛名号	母牛名号	出品者
ライプリー	スポツティー マダー	H24.4.22	ライプリー ハヤ マダー	ライプリー スポツティー リテイア	山田 晃嗣
YMD	チュンキー アイオーン ルツクス	H23.10.20	ミッドフィールド CCM アイオーン	YMD チュンキー アーロン ルツクス	山田 博和
プレステージ	ラスト チャンス ET	H22.4.7	マコンバー オーマン ボガート	ジレット ショトル ルツク アツトミー ET	久保 光大
ライプリー	K ジャスパー リル ET	H22.8.3	ウイルコックスビュー ジャスパー ET	カーンピラ チャンピオン リツチー ET	山田 晃嗣
FR	マツヨ リヴェレスト	H20.10.9	コムスター リヴェレスト ET	FR マツヨ レビニユー コール	浮川 優

悪天候にも負けず白熱したプレイを楽しみ、 交流と親交を深めました



参加された皆さん、日頃の練習の成果を発揮され好プレーが続出でした



**管内から約130人の選手が集い、
日頃の練習の成果を競い合いました**

風が強く、雨もばらばらと...そんな天候の中、ひとつのコートに10人の選手が集まり、ボールを打っては気合の入った言葉があちらこちらと、今年も管内農協ゲートボール大会が開催されました。

当初は8月7日(休)に予定していたゲートボール大会でしたが、天候に恵まれなく順延に順延を重ね、8月27日(水)と大きく日にちがずれたにもかかわらず、約130人もの手が集まり今年で22回目を迎えることができました。団体戦では人数が足りずJA標津と合同チームでの参加となりました。いざ試合が始まると、



和気あいあいとした雰囲気の中でプレーを楽しみました

試行錯誤しながらも互いに指示を出し合い、試合を進めていく姿は真剣そのものでした。惜しくも入賞を逃す結果となってしまいましたが、結果に関わらず楽しめたゲートボール大会になったのではないかと思います。

今年も無事、怪我をすることなく終れたことに一安心。

心しております。ゲートボール人口も減少してきている現状ですが、来年もたくさんさんの参加を楽しみにお待ちしております。寒い中、大変お疲れ様でした。

大会結果

団体戦

優勝 JA道東あさひ

準優勝 上春別支所

3位 JA中標津

別海支所

高品質な初乳の給与を (初乳品質の確認法)

初乳の役割を再考する
 新生子牛が健康に育つために不可欠な初乳は、出生直後に必要とされる栄養素やホルモンを豊富に含んでいます。さらに、様々な病原体から子牛を守る物質（IgG）をはじめとする免疫グロブリンなども含んでいます。

牛の胎盤は構造上、免疫グロブリンを通すことができないため、子牛は母牛の体内で免疫を獲得せずに生まれてきます。

従って、病原体から新生子牛を守るためには、良質

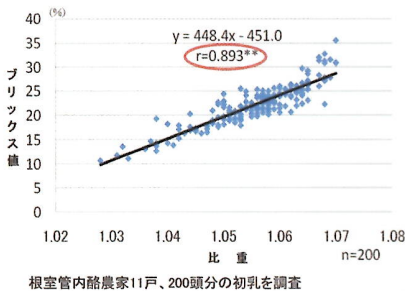


図2 初乳ブリックス値の推奨基準



図1 比重計とブリックス計

な初乳が不可欠です。
初乳の品質を確認する
 初乳中の免疫グロブリン含有量の評価には、以前から比重計が使われてきました。しかし、比重計はガラス製で衝撃に弱く、温度補正の必要もあり器具の洗浄にも手間がかかります。そのため、酪農家の間では初乳

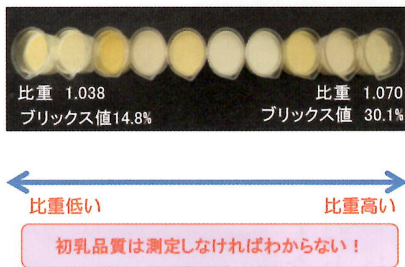


図3 初乳の色調と比重の関係
 根室農業改良普及センター(2013)

品質評価の必要性を理解しながらも、その利用は敬遠されてきました。

一方、比重計と比べて衝撃に強く、操作が簡単で洗浄も楽なブリックス計を用いて、免疫グロブリンの濃度を推定する事例が見られるようになってきました(図1)。

ブリックス値と比重の間には高い相関が見られることから、ブリックス値は比重に代わり免疫グロブリンの推定に利用可能であることが確認されています(図2)。

初乳の見た目と品質の関係
 調査した初乳を比重順に並べてみましたが、色調が濃い黄色でいかにも「高品質な初乳」に見えても、基準を

初乳給与の注意点
 初乳給与が遅れるほど、新生子牛の免疫吸収率は低下していきます(表2)。

初乳は分娩後6時間以内の給与を目標に、速やかに給与する必要があります。ただし、難産で生まれた

ブリックス値の範囲	19%未満	19%以上 22%未満	22%以上
品質の評価	品質に問題あり	免疫グロブリン(IgG)不足	良質な初乳
注意点	できるだけ給与しない	給与の際は粉末初乳を併給する	血球・乳房炎乳ではないことを確認

根室農業改良普及センター(2013)

満たさない比重の初乳が散見されました。

色調などの見た目では品質を評価することはできませんでした(図3)。

初乳品質の判断基準について
 ブリックス計による初乳の評価にあたっては、推奨基準を参考に品質を判断しましょう(表1)。

給与開始時間	調査頭数(頭)	血中IgG値が10mg/ml以上の牛(頭)	血中IgG値の平均値
1時間以内	12	7	10.68
3時間以内	13	7	11.12
5時間以内	11	4	9.76
6時間以上	4	0	8.31

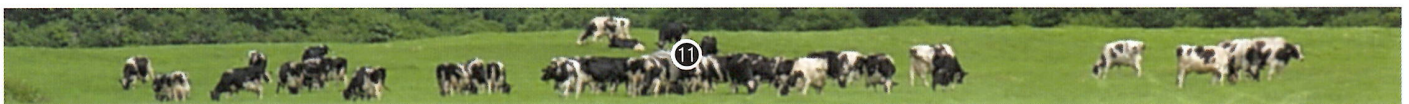
・出生後1回目の初乳を給与するまでの時間による血中IgG値を示している
 ・給与開始時間が遅くなるほど、免疫抗体が充分に上がらない牛が増えることが分かる(血中IgG推奨値:10mg/ml以上)

根室農業改良普及センター(2013)

新生子牛など、なかなか初乳を飲まない事例も見受けられます。そのようなケースでは、羊水が胃内に貯留していたり、酸欠状態からの回復が遅れていることが考えられます。

なかなか初乳を飲まない子牛には、分娩直後の初乳給与を無理に行わず、6時間程度、時間を置いてから給与し直しましょう。また、免疫吸収率は次第に落ちますが、12時間以内ならば再度初乳給与にチャレンジしましょう。

初乳給与量は、必要とされる免疫グロブリンを満たすために、3リットル以上を目安にしましょう。



別海町秋の味覚を堪能 **産業祭**

「美味しかったので、買いにきたよ！」と
大好評、あつという間に全て完売!!

別海町の農村広場で秋の味覚を堪能する産業祭が9月20日～21日に行われました。

20日は、美原太鼓の演奏が産業祭の大きなステージで披露されました。演奏が始まる前の舞台裏では、緊

**勇壮な美原太鼓の演奏に
多くの来場者が魅了**

張して落ち着かない様子の子や、集中して目に力がみなぎっている子など、思い思いに準備を整え演奏が始まりました。

太鼓の「ドンドン」と音がなると、生演奏で聞く太鼓の迫力に、お喋りをしていたお客さんや食べ歩きをしていたお客さんは立ち止まり、あつという間にステージ前に用意されていた席が満席となりました。

最後は、子供と大人が一緒に日頃の練習の成果を発揮し、産業祭の会場全体に太鼓音が響き渡り、



見事な手綱さばきをする太田さん



素晴らしい太鼓演奏を披露してくれました美原太鼓



演奏が終わると大きな拍手に包まれました。次に行われた馬事競技大会では、トロツター繫駕(けいが)が行われました。何気なく観戦していると、コーナーを曲がつて直線に入ると先頭の馬を見ていると、赤いヘルメットを被った美原の太田さん

が、馬を巧みに操り走りぬけていく姿を見ることができました。

21日は、JA中春別青年部による、乳ホタ餃子、ハンバーグ、牛ロースステーキの3品の販売を行いました。大きな鉄板でステーキを焼き始めると、通り過ぎる



ステーキを焼く顔にも笑顔がこぼれる青年部員



レジの前は長蛇の列に

お客さんがステーキを焼いている青年部員に「どこに並べば買えますか?」と聞いてくるお客さんで、レジの前にはあつという間に長蛇の列ができました。

お買い求めになったお客さんからは、「美味しかった



から、また買いにきたよ」「秘伝のたれ美味しいね」と声をかけてもらい、ステーキを焼く部員から笑顔が溢れておりました。用意した商品は、大好評であつという間に完売することができました。参加された皆さんお疲れ様でした。



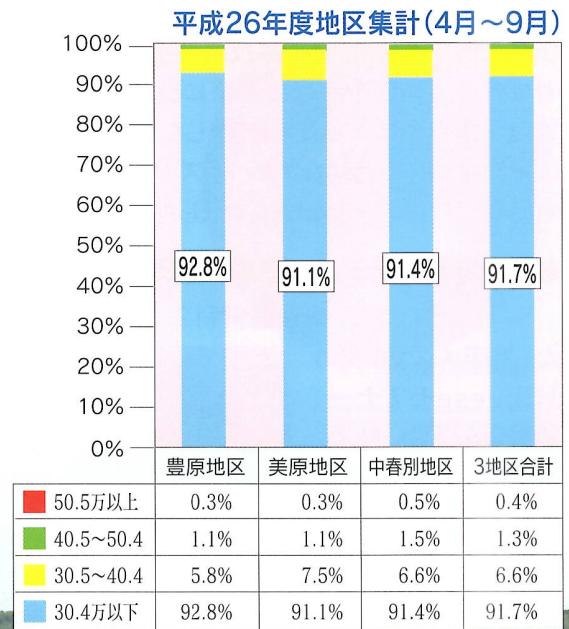
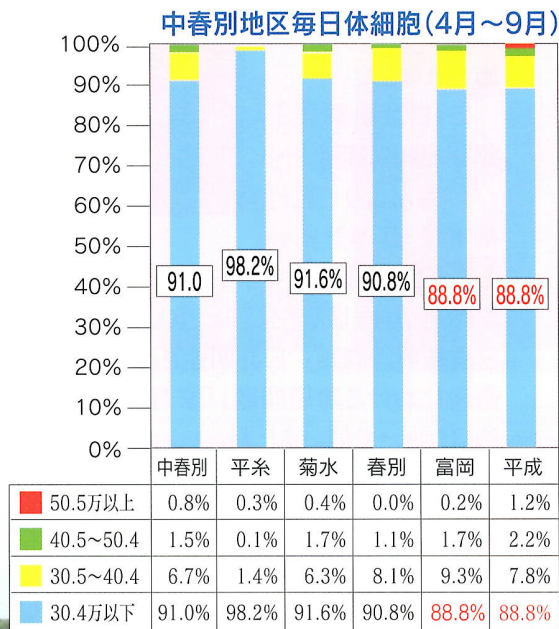
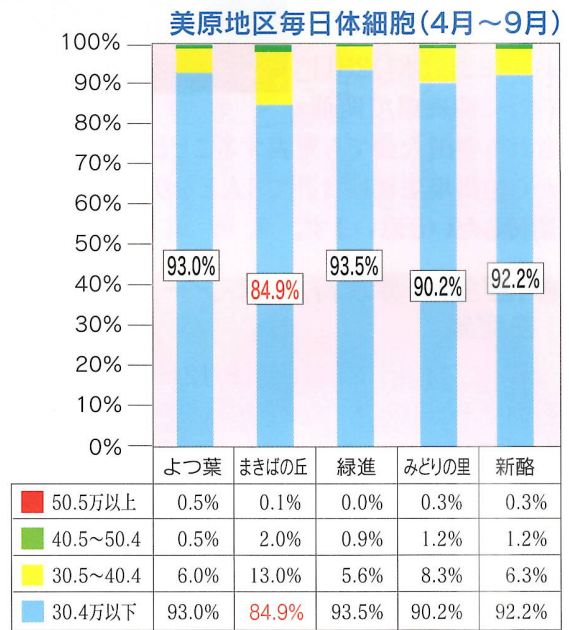
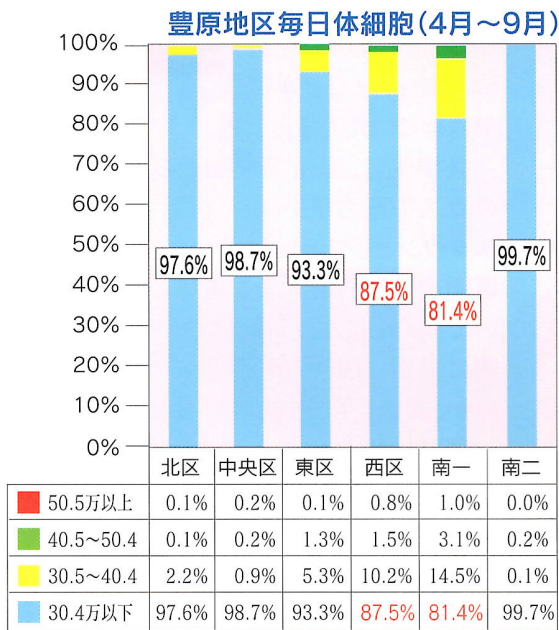
アイスクリーム早食い競技、スプーンも刺さりません



生乳汚染事故を無くそう！

- 抗生物質混入事故…………… JA中春別発生件数 0件 管内合計では4件です。
- 生菌による汚染事故…………… JA中春別発生件数 0件 管内合計では0件です。
- 異物混入(小動物)、加水、血乳による汚染事故… JA中春別発生件数 0件 管内合計では2件です。
- 異臭、異常風味による汚染事故…………… JA中春別発生件数 0件 管内合計では0件です。

「安全で美味しいミルク」のためにも生乳処理室内外の環境美化に努めましょう。



●【経営科】全道意見発表大会で最優秀賞

8月21日(木)から22日(金)の2日間、幌加内町で行われた全道意見発表大会が開催されました。東北海道大会で優秀賞を受賞した酪農経営科2年漆原望美さんが、区分文化・生活において見事に最優秀賞を獲得しました。定時制から全日制に転換してからは、初となる全道大会最優秀賞となりました。『本気で伝える「命」と「食」』と題して発表した漆原さんは、10月22日(水)、23日(木)に沖縄県で開催される全国大会でも発表することとなりました。本校からの出場生徒は合計で3人となり、活躍にますます期待したいと思います。



全道大会の表彰風景

●【経営科・専攻科】ガス・アーク溶接講習会を実施

7月27日(土)、28日(日)、8月2日(土)、3日(日)の4日間にわたりガス、アーク溶接の講習会を実施しました。本講習は隔年毎に開催しております。当日は、溶接協会の講師の方から機材の取り扱いや法令に関する講習、更に実技講習を受けました。参加者は各自の経営や将来の進路に役立てようと真剣な態度で講習会に参加しておりました。特に実技講習では専門家からの適切なアドバイスの元、どの受講生も短時間で技術の上達がみられました。



実技講習の様子

●【経営科】雪印メグミルク講習会の実施

9月10日(水)に、酪農経営科2、3年生を対象とした、雪印メグミルクの「Cheeseセミナー」講習会を受講しました。当日は、栄養士の伊澤さんより、チーズの種類や特性などについて学び実際に様々な種類のチーズの試食を行いました。生まれて初めて食べる種類のものもあり、チーズの世界の広さ、奥深さを学ぶことができました。



井澤先生のチーズ講習

●【専攻科】第1回酪農技術現地研修会

8月19日(火)に第1回酪農技術現地研修会が行われました。

別海資源循環試験施設にて、バイオガスプラントの概要について、また、町内に建設中のプラントについて、別海町役場高橋主幹より詳しく説明を受け、その後、施設や稼働状況などを見学させていただきました。



資源循環試験施設見学

各学生は、家畜排泄物から再生可能エネルギーのガスや電力を生産し、利用するしくみや、バイオマスタウンとしての別海町の取り組み、また、液肥及び堆肥の再資源化による適切な農地への還元法について、余剰電力の売電についてなど、高橋主幹の説明に真剣に聞き入り、今後どのように運用されていくのか、興味をもつての見学会となりました。

農業特別専攻科の酪農技術現地研修会は10月と来年の1月にも管外、管内で実施予定です。

●【専攻科】農業法規

8月26日～28日の3日間で、外部授業「農業法規」が実施されました。

26日は根釧農業試験場研究部長・原仁さんより、農村基本法・基本計画の



講義の様子

あらまじや、北海道農業・畜産の基本方向についてお話を頂きました。27日と28日はJA道東あさひより、営農振興課課長 白井明彦さんをお招きして、「酪農・畜産における環境問題」「家畜排泄物処理法」「農地法」について伺いました。

また、最終日にはJA道東あさひ哺育・預託センターを見学させて頂きました。学生からは、「これからは、こういった法律の内容を見聞きするのが当たり前になるので、知っておく必要がある。早く親方に近づきたい」「石灰塗付が大変きめ細やかで、寝わらもキレイ。自家哺育の参考にしたい」という感想がありました。

(文責:菊地)

議案

1. 反社会的勢力等への対応に関する規程の一部改正について
2. 平成26営農年度財産造成に伴う資金の貸付について
3. 固定資産の取得について

報告事項

1. 組合員の脱退について
2. 職員の退職について
3. 人事の発令について
4. JA全国監査機構監査による一般監査報告について
5. JA全国監査機構監査による一般監査で事務整備を要する事項の回答について
6. (社)北海道農協経営審査協会による内部審査報告書について
7. 平成26年度一日皆貯金の実施について
8. 文書保存要領(参考表)の一部改正について
9. 農林年金の制度完了に向けた対応について
10. 平成26年度9月末棚卸実査について
11. 平成26年度8月末営農生産関連実績について
12. 平成26年度(後期)JA中春別選定種雄牛について

協議事項

- 別海バイオガス発電株式会社に係る取締役の選任について

8月 乳質乳価一覧表

(単位:円/kg)

		単価	算出基礎	支払価	前期	差	
乳脂肪分		863.753		32.69	31.55	2.00	
無脂乳固形分		545.133		47.34	44.02	3.28	
補給金		4.1158		4.12	4.96	-0.04	
計画チーズ奨励金		1.9141		1.91		0.13	
乳質単価	生菌数	ランク1	2	307,008,286.7kg	3.58	3.70	0.02
		ランク2	0	6,725,605.1kg			
		ランク3	-3	318,185.1kg			
	体細胞数	ランク1	2	245,966,966.0kg			
		ランク2	1	34,205,873.0kg			
		ランク3	-2	7,834,529.0kg			
合計				89.64	84.23	5.39	

8月分乳代支払単価

項目	単価(円)/(kg) %
乳脂肪分①	32円69銭
無脂乳固形分②	47円34銭
補給金③	4円12銭
チーズ奨励金④	1円91銭
脂肪率	全道 3.78%
	農協 3.83%
無脂固形分率	全道 8.68%
	農協 8.65%
成分乳価 ①+②+③+④=⑤	全道 86円06銭
	農協 86円25銭
乳質乳価 ⑥	全道 3円58銭
	農協 3円67銭
乳代合計	全道 89円64銭
	農協 89円92銭
⑤+⑥	差異 28銭

懐かしきあの頃… そして今。



オーストラリアから輸入されたジャージ牛、長い船旅ですっかり痩せ細っていました



今月は「放牧風景」に注目したいと思います。現在の放牧風景を想像した時、白黒のホルスタイン牛が広大な草地に放され、青々とした牧草を食べ、ている風景を思い浮かべる人が多いと思います。入植当時は、オーストラリアより輸入されたジャージ牛が多く、草原に茶色の牛が放牧されている光景が甦られたそうです。

当時は、ジャージ牛が気候に早く順応し、乳期が長く、乳量は少ないが脂肪が高いので経済性がいいと多く導入されていました。オーストラリアからの長い船旅と横浜からの窮屈な貨

車輸送の疲れで、中春別につく頃には、牛体もすっきり汚れ、腹もくぼんだ状態、かわいいパンビの様で当時は大変だったと教えてくれました。

編集後記

▼すっかり風も冷たくなり、朝には霜もおりて、日毎秋の深まりを感じられるようになりました。

▼天候不良が続く、思うように二番草の収穫作業が進まない日が続きましたが、この組合だよりが届く頃には皆さんの仕事もひと段落しているのではないのでしょうか。

▼さて、今月号は敬老会や産業祭を掲載しております。

敬老会では、久し振りに再開した仲間と尽きることなく会話に花を咲かせていました。

話題は、それぞれですが世間話や趣味の話など、畑が趣味の人は「別な畑が気になるの!」と言って今年の豊作物について話して、「収穫の秋」を喜んでいました。

これからも自分の趣味に打ち込んで、いきいきと過ごして欲しいと思います。

▼その他にも「この時期はこんなことをやっています!」など、ご連絡いただければ取材にお伺いいたします。(連絡先JA中春別営農振興課TEL76-2241) どうぞ気軽に情報をお寄せください。